

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課

電話番号：058-272-1111(内9325)

市町村支援第一係

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 23,154 千円 (前年度予算額： 53,094 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	53,094	53,094	0	0	0	0	0	0	0
要求額	23,154	3,299	0	0	0	0	0	0	19,855
決定額	13,090	3,299	0	0	0	0	0	0	9,791

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルスワクチン接種について、特例臨時接種終了後の安定的な制度の下でも安心して接種を受けられるよう、接種体制を確保する必要がある。

(2) 事業内容

○コロナワクチン接種後の副反応に対する相談体制の整備等

人材派遣会社への委託により看護師又は保健師を配置して、ワクチン接種後の副反応に対する県民からの問い合わせに対応する電話相談窓口の設置等、接種後の副反応相談体制を整備する。

また、副反応相談窓口等を周知するための広報等を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

副反応相談体制の整備に対しては、令和5年度実績の1/5を国が補助
その他経費は、県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	176	供給調整本部 176
旅費	326	業務旅費 306、費用弁償 20
需用費	971	会議費 11、消耗品費 960
役務費	720	通信運搬費 720
委託料	20,901	電話相談業務委託、医療相談業務委託、廃棄費、移送費、広報費
その他	60	
合計	23,154	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 予防接種法に基づく特例臨時接種は令和5年度で終了し、令和6年度以降は安定的な制度の下で接種を継続することとされている。
- ・ 「第7期岐阜県保健医療計画」の「感染症対策」において、今後の施策として、有効かつ安全な予防接種の実施体制の構築を図ることとしている。

(2) 後年度の財政負担

今後の感染状況や国の動向を踏まえ判断する。

(3) 事業主体及びその妥当性

県民のワクチン接種後の副反応等に対する医学的知見が必要となる相談等を、受け付ける窓口を県が設けることとされており、設置は妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応等に対する相談体制を引き続き確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

ワクチン接種後の副反応等に対する相談件数等を予測することができないが、その都度必要な対応を柔軟かつ迅速に実施する必要があるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>（取組内容） 令和3年2月より、新型コロナウイルスワクチン接種事務補助員を派遣 令和3年3月より、新型コロナウイルスワクチン接種電話相談を設置</p> <p>（成果） 電話相談の開始により、県民から寄せられる新型コロナウイルスのワクチン接種に関する専門的な相談に対応した。 また、電話相談及び軽微な事務作業を委託したことにより、職員が新型コロナ対策に注力でき、ワクチン接種体制の強化が図られた。</p>
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和3年度	<p>（取組内容） ・新型コロナウイルスワクチン接種電話相談を設置 ・新型コロナウイルスワクチン副反应对応医療相談窓口の設置</p> <p>（成果） 電話相談の開始により、県民から寄せられる新型コロナウイルスのワクチン接種に関する専門的な相談に対応した。 また、岐阜大学医学部附属病院に地域の医療機関からの相談窓口を設置して相談に対応することにより、ワクチン接種体制の強化が図られた。</p>
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和4年度	<p>（取組内容） ・新型コロナウイルスワクチン接種電話相談を継続設置 ・新型コロナウイルスワクチン副反应对応医療相談窓口の継続設置</p> <p>（成果） 電話相談の継続により、県民から寄せられる新型コロナウイルスのワクチン接種に関する専門的な相談に対応した。 また、岐阜大学医学部附属病院に地域の医療機関からの相談窓口を継続設置して相談に対応することにより、ワクチン接種体制の強化が図られた。</p>
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>県民のワクチン接種後の副反応等に対する医学的知見が必要となる相談等を受け付ける窓口を県が設けることとされているため、業務を委託する必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>看護師・保健師による相談体制を構築することで、医学的知見を有した者が対応できている。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>感染状況や相談状況により、適切な人数を配置し、相談業務を行っている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 特例臨時接種終了後の安定的な制度の下においても、接種を円滑に進める必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後の感染状況や国の動向を踏まえ判断する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	